

市議会だより

第74号

H31.1.15 発行

発行：飯山市議会

編集：議会だより編集委員会

TEL：0269-62-3111

FAX：0269-62-0005

HP：http://www.city.iiyama.nagano.jp/gikai/

E-mail：gikai@city.iiyama.nagano.jp

◆就任あいさつ◆



議長 渋川 芳三

議会と議員に注目を！

あけましておめでとうございませう。市民の皆さま方には、ご健勝にて新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、日頃より議会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私は昨年12月定例会での議会人事において議長に選出されました。市民の皆様、議員諸氏のご理解とご協力をいただき議会運営、市政発展に取り組む議長としての職責を全うしてまいります。

現在市町村議会は議員のなり手の不足、議員の定数そして議員報酬のあり方を始めとして様々な課題を抱えており、これらの課題解消のため住民の皆さんとの意見交換等を行っている議会も多くあります。飯山市議会においても今後検討を進めてまいります。市民の皆さんにおかれては、これからも議会と議員が何をしているのか、注意を払っていただきますようお願い申し上げます。今年5月からの改元が予定されており、平成最後の年と新たな年が災害の無い良い年であることを願っております。

今まで行ってきた議会改革等の事柄を更に良い方向に推し進めてまいります。そして、特に一般質問を通じて議会として飯山市政の健全なチェック機能を果たすこと。さらに、議会としての活動を大切にして今まで以上に推し進めること。この二つを中心として、更に議会改革を進めてまいります。



副議長 石田 克男

信頼される議会へ

昨年の秋施行された、市長、市議会議員同日選挙後の初めての、飯山市議会12月定例会の初日に役員選出が行われ、私が再度副議長に選任されました。

佐藤前議長の元での二年間の経験をかき、渋川議長が想い描く飯山市議会の将来像の実現にむけて協力できますように頑張りたいと思います。

今、地方の市町村議会では、時代の変革と共に議会改革を強いられています。議員のなり手不足、定

新体制 決まる

平成30年10月の市議会議員選挙後、初の議会となる12月定例会が開かれました。初日の12月12日に議場で行われた議長選挙・副議長選挙により、議長には渋川芳三議員が、副議長には石田克男議員がそれぞれ当選されました。続いて各常任委員の

選任、議会運営委員の選任、北信広域連合議会議員の選挙、岳北広域行政組合議会議員選挙を行い、新体制が本格的にスタートしました。議長、副議長のもと、全議員が、市民の皆様を代表として市政発展に向けて全力で取り組みます。

数及び報酬の見直しなど課題は山積しております。これらの課題を一つ一つ解決しなかり将来の議会像が見えてきません。議会として市民の皆さんと対話を交わしながら少しずつ解決の道を歩んで行ければと思います。

幸いにも、議長・副議長職に就きますと、全国市議会議長会、北信越市議会議長会、長野県市議会議長会、東北信9市正副議長会、北信3市正副議長会、岳北4市村正副議長会、長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会など、広域の多くの市町村正副議長さんとお会いでき、色々な話をきくことができます。それぞれの市町村での悩み、課題等の条件は違いますが参考になることも多々あります。一回一回の会議に集中し、得たものを飯山市議会の改革につなげられればと思います。2年間よろしく願っています。

飯山市議会 第17期スタート!!



新しい議会の構成

◎委員長 ○副委員長

産業民生 常任委員会



◎久保田幸治 ○岸田 眞紀 吉越 利明 飯田 健一



市川 久芳 上松 永林 小林喜美治 石田 克男

総務文教 常任委員会



◎山崎 一郎 ○渡辺美智子 水野 正彦 松本 淳一



西澤 一彦 高山 恒夫 佐藤 正夫 渋川 芳三 (議長はオブザーバー)

岳北広域行政組合議会議員 (飯山市議会選出)

水野 正彦 市川 久芳 佐藤 正夫 石田 克男
久保田幸治 小林喜美治 山崎 一郎 渋川 芳三

予算決算 常任委員会

◎高山 恒夫 ○西澤 一彦
(委員は議長を除く全議員)

北信広域連合議会議員 (飯山市議会選出)

西澤 一彦 渡辺美智子 上松 永林
石田 克男 渋川 芳三

議会運営 委員会

◎佐藤 正夫 ○小林喜美治 市川 久芳
高山 恒夫 久保田幸治 山崎 一郎

12月定例会は、12月12日から27日までの16日間の日程で開催しました。
▼12月12日（開会日）
 議会構成および会期決定。

▼12月13日（議案上程）
 平成30年度補正予算、条例の一部改正など17議案を上程し、市長から提案理由の説明を受けました。

▼12月20～22日（一般質問）
 12名の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

▼12月22日（議案上程）
 監査委員の選任および教育委員会委員の任命に関する同意についての議案が上程され、全員一致で同意しました。

▼12月25日（常任委員会）
 補正予算、条例改正などの付託議案や請願について審査を行いました。

▼12月27日（最終日）
 各常任委員長から、付託議案等の審査結果の報告を行いました。
 総務文教および産業民生常任委員会から意見書が提出されました。
 採決の結果、審議された議案等については、すべて可決となりました。

※各議員の一般質問は2月号にて掲載します

12月定例会で審議された議案等

※ 今定例会において、賛否の分かれた案件はありませんでした。

《補正予算案9件》

議案第107号	平成30年度飯山市一般会計補正予算（第7号）	可決（全員一致）
議案第108号	平成30年度飯山市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全員一致）
議案第109号	平成30年度飯山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全員一致）
議案第110号	平成30年度飯山市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決（全員一致）
議案第111号	平成30年度飯山市簡易水道特別会計補正予算（第2号）	可決（全員一致）
議案第112号	平成30年度飯山市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	可決（全員一致）
議案第113号	平成30年度飯山市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全員一致）
議案第114号	平成30年度飯山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決（全員一致）
議案第115号	平成30年度飯山市水道事業会計補正予算（第2号）	可決（全員一致）

《条例案4件》

議案第116号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員一致）
議案第117号	飯山市福祉医療費特別給付金条例の一部を改正する条例	可決（全員一致）
議案第118号	飯山市空家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員一致）
議案第119号	飯山市若者・定住住宅条例の一部を改正する条例	可決（全員一致）

《事件案4件》

議案第120号	権利の放棄について	可決（全員一致）
議案第121号	市道路線の認定について	可決（全員一致）
議案第122号	市道路線の廃止について	可決（全員一致）
議案第123号	市道路線の変更について	可決（全員一致）

《人事案2件》

議案第124号	監査委員の選任に関する同意を求めることについて	同意（全員一致）
議案第125号	教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて	同意（全員一致）

《請願書2件》

請願第6号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願	採択（全員一致）
請願第7号	消費税増税の中止を求める請願	一部採択（全員一致）

《意見書2件》

意見書第4号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書	可決（全員一致）
意見書第5号	消費税の増税に対する意見書	可決（全員一致）

「特別豪雪地帯での安全安心な暮らしを求めて」阿部知事へ要望

長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会



30年度協議会総会

※この協議会は、積雪が特に多く、積雪により住民の生活に著しい支障を生ずる地域として国から特別豪雪地帯に指定された県内10市町村の議会で構成され、緊密に連携して雪害対策等の推進を図ることを目的として活動しています。会長は飯山市議会議長が務めています。

◎総会

11月8日白馬村を会場に、長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会の平成30年度の総会が開催されました。

総会では、それぞれの議会から豪雪地帯の道路等整備や災害復旧、安全安心な暮らしの確保に向けた切実な要望が提出され、案件はすべて可決されました。

○飯山市議会の要望事項

- ①住宅除雪支援事業の助成対象の拡充（道路から玄関までの間）
- ②克雪住宅普及促進事業の平成31年度以降の継続
- ③集落内克雪水路等の維持・更新への助成
- ④国道292号の古牧橋の架け替え促進
- ⑤一般県道曾根藤ノ木線の早期改良促進
- ⑥国道403号（中央橋）主要地方道飯山野沢温泉線）の整備促進
- ⑦主要地方道飯山妙高高原線の改良促進
- ⑧一般県道牟礼永江線の改良促進

◎県知事要望

総会での決定を受け、11月19日に協議会並びに県議会豪雪地帯対策促進議員連盟合同で県知事への要望を行いました。

阿部知事は最後まで同席され、

新年度に向け県の雪を活かした地域づくり方針の下、しっかりと取り組んでいきたい旨、回答をいただきました。

○飯山市要望事項に対する県への回答

- ①雪国での生活支援としての事業内容の検討
- ②雪下ろし作業の安全確保等、ソフト対策を含めた総合的な雪対策として継続を検討
- ③地域発元気づくり支援金による支援が可能
- ④地元とルートについて検討、平成30年度、地形測量に着手
- ⑤現在、外様工区の本工事、小境工区の歩道工事を実施
- ⑥概略のルート変更を行い地元と協議
- ⑦平成29年度、親川工区完成、今年度から涌井工区の概略設計着手
- ⑧平成30年度、飯綱町毛見地区、拡幅工事を実施

○阿部知事より総括回答

人口減少が進むなか、豪雪地帯における雪対策等の生活を支える人材の確保が課題となる。克雪住宅の普及促進については命を守るという観点で職員の政策提案で制度化された施策であり、雪下ろし作業の安全を確保するという観点も踏まえて必要な見直しを行い、継続を考えたい。住宅除雪支援事業については、

対象となる範囲の拡大は必要だと考えている。

集落内克雪水路の更新については、今の時点では地域発元気づくり支援金を活用が一番望ましいのではないかと考える。

◎県議会議長陳情

同日、鈴木県議会議長へ陳情を行いました。

また、県議会11月定例会において、次のとおり採択等されました。

《採択》

・災害復旧について・克雪住宅普及促進事業の継続等について・住宅除雪支援事業の適用範囲の拡充について・集落内克雪水路等の維持更新への助成について

《継続審査》

・豪雪地帯の道路整備等について



県議会鈴木議長へ陳情書を手渡す佐藤会長